



悲惨な交通事故をゼロにするために

交通事故を防ぐためには、一人一人が交通ルールを守ることが大切です。事故を起こしてから後悔するのではなく、未然に防ぐためには何に気を付けたいのでしょうか。一緒に交通ルールを確認してみましょう。

☎ 安全安心対策課 ☎ 内線 1184



▶特集を動画で公開

交通事故はなぜ起きるのか、起こさないためにはどうしたらいいのか、インタビューを中心に動画でまとめました。

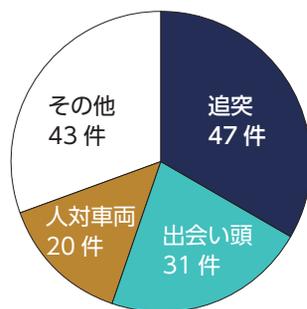
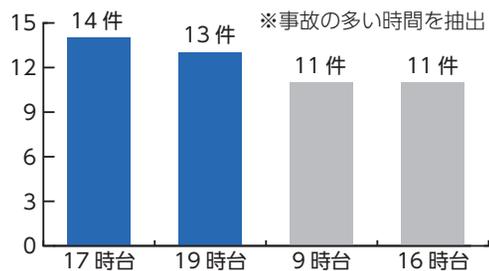


1. 取手市内でも悲惨な交通事故が発生しています (10月末時点)

①市内で141件の人身事故が発生、2日に1件どこかで事故が起きている
市内では、1月から10月末までに141件(前年比-15件)もの人身事故が発生しています。取手署管内の発生状況は、守谷市96件、利根町9件。他市町と比べ市内で多くの事故が発生していることがわかります。

市内で発生した人身事故141件のうち、死者数は3人、負傷者数は163人です。発生件数は昨年よりも減少していますが、依然として悲惨な事故が後を絶ちません(141件の分類は下記円グラフのとおり)。

②暗い時間帯での事故や、追突事故の割合が多い



【交通事故の原因で最も多いのは前方不注意です】

運転中はできるだけ他のことを考えずに運転に集中しましょう。

③交通事故が起きやすい交差点 ※令和2年…1～12月、令和3年…1～10月

R2	白山前	5件
	こぶけ小浮気	4件
	国道294号入口	4件

R3	新大利根橋北	5件
	藤代庁舎東	3件
	白山前	2件

白山前で7件発生

④白山前交差点での事故内訳



- ・追突…3件
 - ・人対車両(国道6号に右折)…2件
 - ・車両相互(右折直進)…1件
 - ・自転車対車両(6号から左折)…1件
- 右左折する車が歩行者を巻き込む事故が発生しています。横断歩道手前で歩行者がいないか必ず確認しましょう。

【追突事故を防ぐために、前車のさらに前の車の動きに注意!】

先行車の前に隣の車線からの割り込みがあった場合、先行車の急な減速が予測されるので、早めに減速することで追突を防止できます。



取手警察署交通課 取締係 巡査 右色紘土さん

運転する際は心にゆとりを持ち、余裕を持った運転をしてください

事故を防ぐための運転者視点での注意点を、取手警察署交通課の右色紘土さんに伺いました。

ースピードを控え、安全運転を

大きな道路だけではなく、生活道路での事故が多く発生しています。スピードを控えた運転をすることで歩行者の飛び出しや、見通しの悪い交差点で危険を回避できます。また、車間距離を正しくとることもスピード遵守と同様に大切です。万一の際に、事故を回避できるように車間距離の確保を心掛けてください。

ー運転する際は横断歩行者に注意が必要です

横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいたら、車両は横断歩道の手前で停止しなければなりません。夜間は視認性が悪くなり横断歩行者の発見が遅れがちになるので、より一層の注意が必要です。

ー冬期は降雪や路面凍結によるスリップ事故が予想されます

県では年間降雪が20cm以上になった平成30年に、スリップによる事故が2,000件以上発生。急発進・急ブレーキ・急ハンドルなど「急」のつく運転は避け、いつも以上に車間距離を十分にとり、安全な速度で進行するようにしてください。

ー飲酒運転は「絶対に」やめましょう

年末は飲酒運転による交通事故が多く発生します。飲酒運転は、運転者だけでなく、同乗者や車両提供者、酒類提供者にも厳しい処分が科せられます。絶対に飲酒運転をしない、させないようにお願いします。